

## 8 現住居以外の住宅を所有している世帯

普通世帯のうち、現住居以外の住宅を所有している世帯は、68,600世帯（普通世帯総数に占める割合11.8%）で、このうち、居住世帯のある住宅を所有している世帯は53,900世帯（同9.2%）、居住世帯のない住宅を所有している世帯は22,800世帯（同3.9%）となっています。

表8-1

	普通世帯数											
	総数	うち現住居以外の住宅を所有している世帯										
		総数 1)2)	居住世帯のある住宅					居住世帯のない住宅(空き家)				
			総数 1)	親族 居住用	貸家用	売却用	その他	総数 1)	二次的 住宅・別荘	貸家用	売却用	その他
実数(世帯)	583,100	68,600	53,900	32,400	13,600	800	9,700	22,800	5,000	3,200	1,300	13,900
割合-1(%)	100.0	11.8	9.2	5.6	2.3	0.1	1.7	3.9	0.9	0.5	0.2	2.4
割合-2(%)	-	-	100.0	60.1	25.2	1.5	18.0	100.0	21.9	14.0	5.7	61.0

1) 複数の住宅を所有する場合、それぞれの住宅の主な用途について世帯を計上しているため、内訳は総数に一致しない。

2) 現住居以外に所有する住宅の主な用途「不詳」を含む。

○割合-1は、普通世帯総数に占める居住世帯の有無及び主な用途別の割合

○割合-2は、居住世帯のある住宅を所有している世帯総数、居住世帯のない住宅数を所有している世帯総数それぞれに占める主な用途別の割合

現住居以外の住宅を所有している世帯について、現住居以外に所有する住宅の主な用途の割合を居住世帯の有無別にみると、居住世帯のある住宅は、「親族居住用」が60.1%と最も高く、次いで「貸家用」が25.2%、「その他」が18.0%などとなっています。また、居住世帯のない住宅は、「その他」が61.0%と最も高く、次いで「二次的住宅・別荘」が21.9%、「貸家用」が14.0%などとなっています。

図8-1 現住居以外に所有する住宅の主な用途別普通世帯数の割合

